

## 導入すべき持続性の高い農業生産方式一覧

作物 [ ]内:作型	土づくりに関する技術		化学肥料低減技術		
	たい肥等	緑肥作物	局所施肥	肥効調節	有機質
水稲					
小麦					
落花生					
きゅうり[露地栽培]					
きゅうり[半促成・抑制栽培]					
トマト[露地栽培]					
トマト[施設栽培]					
すいか					
いちご					
メロン[露地栽培]					
メロン[施設栽培]					
かぼちゃ					
なす					
えだまめ					
未成熟とうもろこし					
ねぎ					
たまねぎ					
ブロッコリー					
キャベツ					
はくさい					
レタス[春どり]					
レタス[秋どり]					
こまつな					
ほうれんそう					
だいこん					
かぶ					
にんじん					
ばれいしょ(じゃがいも)					
かんしょ(さつまいも)					
さといも					
とうがん					
みかん[露地栽培]					
みかん[施設栽培]					
なし					
かき					
ぶどう					
うめ					
くり					
キウイフルーツ					
茶					
カーネーション					
スイートピー					
ばら					
きく					



持続農業法による 省令技術

技術名	概要
1. 土づくりに関する技術	
堆肥等有機質資材施用技術	土壌有機物含有量等土壌の性質の調査の結果に基づき、堆肥その他の有機資材であって、炭素窒素比が概ね10～150の範囲にある物を農地に施用する技術
緑肥作物利用技術	土壌調査を行い、レンゲ等の緑肥作物を栽培して農地にすき込む
2. 化学肥料低減技術	
局所施肥技術	作物の根の周辺に肥料が利用されやすいよう集中的に施用
有機質肥料施用技術	なたね油かす等を化学肥料に代替する
肥効調節型肥料施用技術	肥料成分が溶け出す速度を調節した化学肥料を施用する
3. 化学農薬低減技術	
温湯種子消毒技術	種子の温湯浸漬により有害動植物を駆除する
機械除草技術	機械による雑草の駆除
除草用動物利用技術	アイガモ、コイ等を水田に放飼し、除草する
生物農薬利用技術	天敵等を利用し、病害虫を駆除する
対抗植物利用技術	土壌中の有害動植物を駆除する効果を有する植物を栽培する
抵抗性品種・台木利用技術	抵抗性をもつ品種、またはその農産物を台木として利用する
熱利用土壌消毒技術	太陽熱、熱水、上記により土壌を消毒する
土壌還元消毒技術	土壌中の酸素の濃度を低下させることにより、土壌中の有害動植物を駆除する
光利用技術	反射資材・黄色灯等、昆虫の光に対する行動を利用する
被覆栽培技術	べたがけ・雨よけ・トンネル等による物理的防除
フェロモン剤利用技術	フェロモントラップ等による交信攪乱
マルチ栽培技術	土壌の表面をフィルム等で被覆し、雑草を抑制する

省令技術とは、持続農業法第2条に基づき農林水産省令で定める技術をいう。